

意見1 小田急線踏切の拡幅について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
道路・交通関連	<p>(1) 船子自治会</p> <p>■東名厚木病院の前の道路は、小田急線の踏切と国道246号線を通過するため、特に朝の通勤時間帯に森の里方向へ向かう道路が激しく渋滞する。そのため、病院周辺の細い農道を抜け道として利用する車両が多数見受けられる。これらの車両による道路混雑の対策として、東名厚木病院と小田急線の間を小田急線と並行して走る道路（市道A-214号線）の拡幅工事が行われ、一部5m幅道路として完成しており、残りも令和4年に工事が完了する予定である。ところが、この道路を抜け道として通過する車が国道246号線に出るためには、踏切（本厚木13号、14号踏切）を渡る必要があり、これらの踏切は幅が狭いままのため、ここがボトルネックとなっている。この状況を改善するためにも、踏切の拡幅をしてほしい。</p>	<p>■踏切の拡幅改良については、関係機関との調整が必要となります。今後も、関係機関と調整を図り、踏切の拡幅改良を含めた道路整備について検討していきます。</p> <p>＜中間報告以降の状況等＞</p> <p>■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【道路部】 道路管理課

意見2 歩行者の安全対策について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
道路・交通関連	<p>(1) 愛甲宮前自治会</p> <p>■現在、市道長谷線の愛甲橋から宮前交差点までの道路の両側の歩道を通学の高中生や通勤者が愛甲石田駅に向かいかなりの速度で走行しており、その間の信号のない丁字路での車やバイク、自転車、歩行者との出会い頭の衝突事故が過去に発生しており、非常に危険である。また、セブンイレブン厚木愛甲南店からツタヤ愛甲石田店までの間は特に自転車のスピードが速く、朝の登校児童をはじめ、歩行者とぶつかる危険が高く、宮前地区の住民の方々から何とか出来ないかとの要望が多数寄せられているので、重大事故が発生しないように自転車への警鐘方法や走行規制の検討をお願いしたい。また、自治会長要望を提出している見通しの悪い丁字路への一時停止標識や停止線の設置について、早期に実施されるように所管する機関への働きかけをしていただくようお願いします。</p>	<p>■一時停止線の新設など道路交通法に関する規制については、県公安委員会の所管であり、厚木警察署が窓口となります。地域からの御要望を伝え、今一度警察に現地を確認していただき、規制の新設について協議していただくよう要請していきます。また、自転車への注意喚起については、御指摘の場所の付近における啓発活動を厚木警察署と合同で実施するほか、歩道を通行する自転車の速度抑制を促し、安心・安全な道づくりを進めるために、整備方法について検討してまいります。</p> <p>＜中間報告以降の状況等＞</p> <p>■令和3年11月5日（金）の通学時間帯に厚木警察署と協力し自転車利用者への啓発活動及び交通指導を実施し、一時停止の規制について協議していただくよう要請しました。</p>	【協働安全部】 交通安全課 【道路部】 道路維持課

意見3 自治会活動の維持・存続・運営等について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
自治会活動関連	<p>(1) サングレイス愛甲石田自治会、コープ野村自治会</p> <p>■より良いまちづくりのため、自治会活動がいかに必要な活動であるかは、住民の皆さまには十分認識していただいているものと思う。しかし、子育てや親の介護、家計のために夫婦共働きをせざるを得ない状況など、経済的・時間的な制約から、年々負担が大きくなってきている自治会活動への協力や参加をいただける世帯は減少しているため、自治会役員などの活動の担い手が不足し、将来的には自治会活動の運営にも支障を来すことになりかねない不安がある。</p> <p>①既に約4人に1人が65歳以上の高齢者で今後は高齢化が進むだけでなく、人口減少が想定される中、今後の自治会のあり方や活動内容についてどのように考えているか。</p> <p>②コロナ禍もあり、企業ではリモートワークが活用されている場面も多くなってきたが、自治会などの地域の活動はWi-Fi等の環境整備が整っていないこともあり、まったくといっていいほどオンライン化は進んでいない。人的接触によるリスク回避や、ネットワークにつながることで人々の生活をより豊かにするいわゆるユビキタス社会の実現を目指すためにもオンライン化は必須だと思うが、自治会費だけで環境整備や毎月のネットワーク代を賄うのは難しいと感じている。今後、予算を充てて、公民館や自治会館など地域の集会施設へのWi-Fi等の環境整備を行っていく予定はあるか。</p>	<p>①自治会は市がまちづくりを進める上で、必要不可欠なパートナーであると認識しています。少子高齢化等、社会環境が目まぐるしく変化していますが、地域の様々な課題の解決に向け、今後も自治会と行政が協力し合いながら、自治会活動を支えていきたいと考えています。</p> <p>＜中間報告以降の状況等＞</p> <p>■中間報告以降においても変更等はありません。</p> <p>②自治会館へのインターネット回線工事（Wi-Fi用無線機器、通信費等は除く。）については、地域集会所建設建設費等補助金の対象となる場合がありますので、市民協働推進課まで御相談ください。Wi-Fi用無線機器の購入費や通信費等については、自治会活動補助金等を活用いただきますようお願いいたします。なお、市では、災害時における避難者等への情報収集支援及び公共施設を利用する市民の皆様の利便性の向上の観点から、本厚木駅や愛甲石田駅のほか、ぼうさいの丘公園など、28か所で公衆無線LANサービス「Atsugi Free Wi-Fi」運用しています。また、令和3年8月には、建て替え中の厚木北公民館を除く全ての公民館（分館含む）への整備が完了し、Wi-Fiが御利用いただけるようになりました。現在、他の公共施設等への大きな規模での拡大の予定はありませんが、今後の施設等の利用状況などを踏まえながら、調査研究していきます。</p> <p>＜中間報告以降の状況等＞</p> <p>■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【政策部】 情報政策課 【協働安全部】 市民協働推進課

意見4 鳥のフン害対応について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
環境関連	<p>(1) パークハイツ本厚木自治会</p> <p>■①本厚木駅前、②愛甲石田駅前、③東名高速道路と国道246号線が交差する高架下歩道などの鳥のフン害について対応をお願いしたい。また、これまでの対応の実績や今後の計画についてお聞きしたい。なお、③については、国の所管と思われるが、市から管理者へ積極的に対応していただくよう働きかけをお願いしたい。</p>	<p>■鳥のフン害について、本厚木駅前については、音と振動を発生する機器を設置し、鳥が集まらなくなるなど一定の効果はありましたが、今後も効果が継続するかどうかが見極めていきます。愛甲石田駅前については、本厚木駅での対策方法や効果を検討し、対策方法を検討していきます。また、東名高速と国道の交差する高架下については、いただいた意見を所管の国道事務所へ伝えるとともに、効果的な対策がとられるよう働きかけていきます。</p> <p>＜中間報告以降の状況等＞</p> <p>■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【道路部】 道路維持課、国道調整担当

意見5 八幡公園の遊具のリニューアルについて			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
公園整備関連	<p>(1) パークハイツ本厚木自治会</p> <p>■当マンションに隣接する八幡公園には遊具が設置されているが、設置から30年以上経過している。定期的に遊具の点検と更新を行っていただいているが、最近の遊具は進化していることもあり、使用する年齢に沿った遊具への交換をお願いしたい。この公園は、非常に立地条件の良い場所にあるため、普段から親子で利用する方が多く、現在主に利用しているのは幼稚園児から小学生です。道路を挟んで八幡公園と船子宮ノ里公園があるので、子どもたちは2つの公園を行ったり来たりしている。遊具、砂場の外枠ともに老朽化が進んでいるので、幼稚園児から小学生を対象とした遊具の更新と、公園出入口を小さい子どもが飛び出しにくくする工夫や道路を走る車への注意喚起の看板等があると、より安心して遊べるものと考えます。今後も楽しく安全に利用できる公園にすべく、遊具のリニューアルと看板設置等の安全対策をお願いします。</p>	<p>■八幡公園は、パークハイツ本厚木の開発に伴い造られた公園であり、平成元年に市に帰属され、地域の皆様に御利用いただいています。御意見のとおり、市内各地の公園の遊具等については、定期的に点検を行いながら、老朽化しているものから順次更新を進めているところです。八幡公園の遊具については、今年度、小学生以下を対象年齢とした「すべり台」の更新を予定しています。また、公園の出入口の飛び出し防止に係る安全確保については、船子宮ノ里公園と併せ、注意喚起のため「とびだし注意」の看板を設置します。今後も皆様が快適で安心安全な公園として利用していただけるよう、地域の皆様の御意見をお聞きしながら取り組んでいきます。</p> <p>＜中間報告以降の状況等＞</p> <p>■八幡公園については、「すべり台」を更新し、安全対策として「とびだし注意」看板を設置済みです。</p>	【協働安全部】 交通安全課 【都市整備部】 公園緑地課

意見6 ごみ集積所用折り畳み式収納枠について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
環境関連	<p>(1) コーブ野村自治会</p> <p>■ごみ収集日に使用のごみ収納枠について、劣化が進んでいたため昨年新しいものに交換していただき大変ありがたいです。 しかし、収納枠の準備は当番制で行っているが、当自治会には高齢者が多く、収納枠が重いためとても苦労している。 この収納枠について、高齢者でも扱いやすいように、もう少し軽くしっかりしたものに变更できないか、検討をお願いします。</p>	<p>■緑のごみ収納枠については、平成21年度からスタートしたごみ減量化・資源化新システムに伴い、新たに資源化品目として追加したプラスチック製容器包装などが台風等で飛散しないように、ある程度の重さも考慮して設計されたものです。 しかしながら、御意見のとおり、高齢の方には使いづらい面もあると認識していますので、今後メーカーに相談するなど、より良いごみ収納枠の購入を検討していきます。 ＜中間報告以降の状況等＞ ■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【循環型社会推進担当】 環境事業課

意見7 愛甲原児童館の建て替えについて			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
公共施設整備	<p>(1) 愛甲原自治会</p> <p>■愛甲原児童館は地理的に高台に位置し、災害時における南毛利南地区の指定緊急避難場所として指定されている。 しかし、避難所としては安全に利用するには経年により老朽化が進んでいる。 日頃の子どもたちの交流の場だけでなく、お年寄り等の憩いの場として、避難所として必要な機能と設備を持たせ、安心安全な施設として、愛甲原児童館を建て替えてほしい。</p>	<p>■愛甲原児童館の施設の老朽化等の現状については、十分認識しており、修繕等が必要な箇所については、優先的に対応しているところではあります。 今後については、公共施設の適正配置に向けた判断基準や優先順位、実施時期等を定める個別施設計画を令和3年度中に策定します。 なお、愛甲原児童館については、令和14年度までに建て替えを行う施設として、計画に位置付ける予定です。 また、高齢者の増加及び児童数の減少を踏まえ、多世代交流による地域コミュニティ形成の場についても併せて検討していきます。 ＜中間報告以降の状況等＞ ■個別施設計画については、パブリックコメント等の市民参加手続を経て、令和4年2月に策定いたしました。</p>	【政策部】 行政経営課 【こども未来部】 青少年課

意見8 空き家対策について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
まちづくり関連	<p>(1) 愛甲原自治会</p> <p>■愛甲原住宅は50年近くの住宅地ということもあり、家主と連絡のつかない空き家の問題にも直面している。空き家の外壁が傾き、倒れてしまった箇所もある。万が一倒れた際に、小さな子どもや高齢者が歩いていたら、大怪我となる可能性がある。 その他、空き家に生えている木が巨大化し、隣の家にまで侵入してきているケースもある。このような空き家の問題解決に向け、定期的に空き家の管理状況を確認し、適正に管理するよう所有者に働きかけるなど、市として引き続き積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。</p>	<p>■近隣に悪影響を及ぼしている空き家については、住宅課を含めた関係各課から助言及び指導を行うとともに、各種補助制度の周知を行っています。 今後も定期的なパトロールを実施するなど、状況の把握に努め、空き家所有者については、適正管理に関するパンフレット、空き家解体工事補助金の案内、シルバー人材センターによる雑草の除草・植木剪定等の空き家見回りサービスについての案内を送付し、空き家の適正な維持管理及び解消の促進を行っていきます。 近隣の皆様に御迷惑が掛かっている状況にありましたら、個別に対応しますので御相談ください。 ＜中間報告以降の状況等＞ ■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【まちづくり計画部】 住宅課